

# おち町

№133

2020 (R2) 8/1  
高知県越知町議会

議会だより OCHI TOWN

大わらじを背負う 6/28 (3面参照)

## 6月定例会

- 2P 県道18号の要望はどうなっている?
- 6P コロナ関連対策に9043万円
- 12P おち家の絆プロジェクト応援基金を創設
- 13P 新型コロナ、1区移住定住促進住宅など5人が問う(一般質問)

議会です  
こんにちは

## 連載：若者登場⑫



にしもり まり  
西森万玲さん  
(越知甲)

こまつみすき  
小松瑞季さん  
(越知甲)

122号から若者に焦点を当て、インタビュー記事を掲載しています。今回は高知県立大学の西森さんと情報ビジネス&フード専門学校の小松さんに、お伺いしました。なお、インタビュー時はマスクを着用し、終了後にマスクを外して素敵な笑顔を撮らせていただきました。

**問** お二人のプロフィールを聞かせてください。  
西森 小津高校を卒業後、高知県立大学健康栄養学部へ進学しました。今は、管理栄養士か栄養教諭になりたいと思っています。  
小松 岡豊高校卒業後、情報ビジネス&製菓製パン学科へ進学しました。得意な分野を見つけて、菓子、パン屋やカフェとかに就職後、いつか母と一緒に仕事ができればいいと考えています。

**問** コロナの影響は。  
西森 卒業式が短縮され、全員マスク着用で、校歌とかも歌いませんでした。入学式は中止でオンライン授業が始まりました。  
小松 自分たちは、入学式や卒業式がなくなるだけでしたが、部活の人とか中学3年生はコンクールとかもなくなっただけかわいそうやなって思いました。

**問** 新型コロナで生活に変化がありましたか。  
西森 一日中家から出ないことが多かったのですが、今は徐々に外出する機会が増えたと思います。  
小松 ずっと家で課題をやる生活だったけど、学校が始まって、外に出るようになりました。

**問** 昨年の2つの選挙に行かれましたか。  
西森 参議院、知事選、両方に行きました。  
小松 高知市内で生活していたので、期日前投票があることも知っていましたが、吹奏楽の部活があり行けませんでした。

**問** 議会だよりを読んだことありますか。  
西森 最近、同級生が出ていたので読んでいます。  
小松 私もそうです。

**問** 越知の好きなところは。  
西森 人があったかいいところが好きです。  
小松 自然が、すごく好きで、特に朝の空気が一番好きです。

**問** 町への要望は。  
西森 町の魅力をもっと発信してほしい。  
小松 コスモス公園に遊具とかあったらいいと思います。

\* 本日はお忙しい中、お話を聞かせていただきありがとうございます。目標に向かって学生生活を楽しんでください。(取材班)

## 編集後記

新型コロナウイルス発生から、わずか半年余りの間に世界中に広がりが1000万人を超える事態となった。「東京オリンピック・パラリンピック」が延期になるなど、あらゆる分野に影響を及ぼし各種イベント等の中止、長期間の学校の休業、3密の恐れのある事業者には休業要請、人の往来自粛等で、日本経済に多大な影響を及ぼしている。

まだしばらくの間、不自由な日常生活を続けなければならぬと思うが、暗いトンネルの先に明かりが見える日が、一日でも早く来ることを願って止まない。

これからも町民の皆様方に目を通していただける、議会広報づくりに精進したい。  
《小田》

編集・発行責任者	議長 長寺村 晃幸
議会広報常任委員会	委員長 市原 静子
	副委員長 高橋 文一
	委員 小田 範博
	委員 森下 安志
	委員 箭野 久美

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見を寄せください。

要望書

4P 県道18号待避所設置と落石対策を

6P 2年度補正  
コロナ関連対策に9043万円

議案質疑

8P 本村キャンプ場トイレ整備など

11P こんなことが決まったぜよ  
がけくずれ分担金を明確化

臨時会

12P おち家の絆プロジェクト応援  
基金を創設

一般質問5人が登壇

○高橋丈一議員  
(新型コロナウイルス対策、道路行政)

○武智 龍議員  
(県道18号、住宅の耐震工事など)

13P ○箭野久美議員  
(感染症対策、町独自の給付金、SDGs)

○市原静子議員  
(地方創生臨時交付金、レスパイト事業)

○山橋正男議員  
(キャンプ場の来客数、1区移住定住促進  
住宅用地)

20P 議会ですこんには  
連載：若者登場⑫

今号の表紙



6月28日、柴尾地区で恒例の虫送り行事が行われました。

# 県道18号の要望

## 1.5車線の整備

# はどうなっている？

## に向け調査設計をする

次ページにつづく



# 県道18号待避所設置と落石対策を

# 議会の総意で動く

## 県説明会

県から

令和2年3月、県越知事務所から、設置箇所と工事概要、見積額などの現地・机上説明を受けた。対策は待避所設置ではなく、側溝整備により対応を考えているとの内容であった。

議会から

議会は県に、側溝整備では問題解決にならないことを伝え、設置場所も候補地を1カ所に絞り、あくまでも待避所設置を強く要望した。

## 県からの回答

### 待避所

道路幅員が狭小な区間において、1・5車線の整備（待避所）に向け現地調査、詳細設計、用地調査を実施予定。

### 落石対策

落石対策は、斜面の調査や詳細設計等を実施予定。

### 今後の取り組み

地域の課題を共有し、議会の総意として取り組むことの意義を強く感じました。今後も引き続き、県道18号の課題解決に向け、議会全体で取り組んでまいります。

## 検討結果は

令和2年6月、県に対して文書で回答を求めた。

## 現状と課題

県道18号の越知く出来地間は、着々と拡幅改良を進められているが、未改良区間には急カーブがあり、落石も度々発生し、歩行者や通行車両が危険にさらされている。

また、平成30年4月にスノーピークおち仁淀川キャンプフィールドが日

ノ瀬にオープンし、これまでに多くの観光客が訪れている。

この施設の利用者にとつては、国道194号から県道18号を使ってのアクセス道となるが、行き違いが困難なためトラブルが多くなっている。

## 要望書を議決

平成30年9月議会で、未改良区間の待避所設置の要望書を全会一致で議決した。

## 県庁へ出向く

平成30年10月、寺村議長、武智産業建設常任委員長が県庁に出向き、村田県土木部長と土森県議会議長に待避所設置の要望書を提出した。

## 要望書を議決

令和元年6月議会で、緊急を要することから先の待避所設置の要望とは別に、本格改良までの緊急対策として、本区間の落石対策要望書を全会一致で議決した。

## 県庁へ出向く

令和元年7月、寺村議長、武智産業建設常任委員長、森下同副委員長が県庁に出向き、村田県土木部長と桑名県議会議長に落石対策の要望書を提出した。



左から、森下産建常任副委員長、武智産建常任委員長、寺村議長、桑名県議会議長、大野県議会議員



村田県土木部長に(右から2人目)要望書を提出する寺村議長

# 新型コロナウイルス関連対策に

# 総額9043万円を補正

## 休業等にご協力いただいた企業、 事業者に

### 県休業等要請協力金負担金

290万円

県は2年4月22日に新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態措置等を要請し、事業者に施設の利用停止や施設の営業時間の短縮へのご協力をお願いしている。この要請に応じて休業等にご協力いただいた企業、事業者と町が連携し休業等要請協力金を支給する。対象は、2年4月24日から5月6日までの期間にスナックやバーなどでは休業、午後8時以降も営業していた居酒屋など飲食店では午後8時までに営業時間の短縮を実施した事業者に対し協力金30万円。市町村負担は、3分の1の10万円。対象事業者数は29店舗。

## 町独自

## 店舗等の感染拡大防止のための 備品購入などに 新型コロナウイルス感染症対策補助金

1640  
万円

町独自の支援策。対象事業者は飲食店、喫茶店、旅館業、理美容、介護サービス業など社会生活を支える事業者。これらの事業者のうち施設、店舗等の感染拡大防止のための備品や設備、機器の購入や新たな流通形態の構築、顧客の掘り起こし等のPRなどの必要な経費に対して最大20万円を補助。対象事業者数82店舗。

## 町独自

## 売上げが減少した事業者に 町持続化給付金

2560  
万円

経営が苦しい事業者に対して、国の支援で50%以上売上げが減少した事業者に対する持続化給付金制度の対象とならない事業者に対して行う町独自の持続化給付金。  
2年3月から5月までの間に売上が前年同月比で20%以上50%未満減少した事業者に一律20万円を給付。商工業者319者中40%の128者を申請の最大値としている。

## 町独自

## 店舗内の消毒など感染防止対策を 行う事業者に

820万円

### 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策給付金

町独自の新型コロナウイルス感染症支援策として、マスクを付けての営業、店舗内の消毒など感染拡大防止対策を行う事業者に対し10万円を給付。対象事業者は町内の飲食店、喫茶店、旅館業、理美容、介護サービス業など社会生活を支える事業者。対象事業者数は82店舗。

6月定例会は、5日から9日まで開き、がけくずれ住家防災対策事業の分担金徴収条例の一部を改正する条例【9・11面に関連記事】、2年度一般会計補正予算など8件を全会一致で可決し、人権擁護委員、農業委員会委員など12件を同意しました。  
一般質問は5人が登壇し、新型コロナウイルス対策や1区移住促進住宅用地などについて執行部の考えをたどりました。

# 一般会計補正6億1620万円

2年度補正予算

会計名	補正額	総額
一般会計	6億1620万円	57億3984万円
特別会計		
国民健康保険	100万円	7億7105万円
介護保険	215万円	11億3494万円
自然の森博物館	9万円	3016万円

企画課

# 本村キャンプ場トイレを整備



増水時に浸水する本村の簡易トイレ

**設計等324万円の内訳は**

**高橋** 本村キャンプ場トイレ整備設計等324万円の内訳は。

**設計に176万円**

大原企画課長 設計176万円、用地測量99万円、不動産鑑定49万円。

**よコジロー雨具の内容は**

**山橋** よコジロー雨具制作37万円の内容は。

**雨合羽など制作**

大原企画課長 雨合羽と靴カバーを制作する。

**熱中塾のこれからの事業計画は**

**森下** 過疎対策事業債の減額をする熱中小学校事業は、今はコロナの関係で塾はできていないが、これからの事業計画は。

**9月から再開**

大原企画課長 9月から再開したいので、講師等の選定をしている。

3期目の授業が残っているが、県外との往來の解除が9月で大丈夫かどうかも含め検討している。

総務課

**どのようなものを**

**箭野** 室内用噴霧器はどのようなものかを考えているのか。

**清浄機を選定**

井上総務課長 新型コロナウイルス対策のための室内空間の除菌をするためのもので、感染のリスクを低下させる効果のある清浄機を選定したい。

**補助金の内容は**

**岡林** 集落整備事業費補助金の集落名と内容は。

**ゴミステーションを設置**

井上総務課長 清水、2区、3区、9区、袖野の5カ所に、ゴミステーションを設置する補助金である。



地元が設置したゴミステーション(清水)

危機管理課

## 感染症対策用品を購入

**消耗品の内容は**

**岡林** 災害対策費の消耗品の内容は。

上田危機管理課長 避難者1000人21日分の新型コロナウイルス感染症対策の用品。

**がけくずれ工事箇所と件数は**

**岡林** がけくずれ住家防災対策工事2130万円の内容は。

**五味の1件と予備**

岡田建設課長 五味の予防1件と、今後の豪雨等に備えた予備である。【6・11面に関連記事】

**点検の件数は**

**小田** 橋梁点検の件数とシエッド点検の内容は。

**36橋1洞門を点検**

岡田建設課長 橋梁点検は、町道の橋梁142橋のうち36橋を計画している。5年に1回の点検で今回2回目。シエッドは町道鎌井田横島線中、放水口の洞門。中長期的な維持管理、更新に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を計画するものである。



法枠工を予定している8区の工事現場

**測量設計の内容は**

**岡林** 町道向屋敷池ノ上線新設交付金工事測量設計の内容は。

**8区町営住宅付近の法枠工設計委託**

岡田建設課長 8区町営住宅付近の山手法面から湧水が確認されたため、法枠工の設計委託をする。



備えあれば安心

**工事請負費で**

**武智** 原材料費で生コンクリート等330万円を減額した理由は。

**減額の理由は**

岡田建設課長 稲村耕作道拡幅工事は、作業班での施工が困難となり、工事請負費で計上している。



昭和55年建設の洞門(放水口)

環境水道課

**浄化槽補助金減額理由は**  
**【武智】** 移住者の受け入れ促進に力を入れてやっている中で、浄化槽設置整備事業補助金66万円を減額する理由は。

計画に達した

**岡田環境水道課長** 浄化槽の整備は5カ年計画であり、2年度が最終年度で、計画に達したため、当初の計画の基数と、現在までの申し込み基数の差額を減額する。



小舟・1区～10区までの市街地(一部該当しない区域あり)は、下水道による集合処理がされている。それ以外の地区は、合併浄化槽の対象区域となっている。

教育委員会

**学力向上補助金の減額理由は**

**【武智】** 学力向上対策補助金35万円の減額は、補強しないといけないときに減額は流れに逆行するように感じるが、理由は。

コロナで予定が取れない

**谷岡教育次長** 東京方面への視察研修の費用で、コロナ感染症の状況により、研修計画を先延ばししても予定が取れないので減額をする。

**ゴスペル補助金減額の理由は**

**【武智】** ゴスペル実行委員会補助金は、子どもたちにも良いものなら、来年3月まで延期してもよかったのではないかと。減額の理由は。

日程調整つかず

**織田教育長** コロナ感染拡大の状況になり、3密対策を関係者と協議し、延期も検討したが、相手方との日程等の調整がつかず、今年は中止とした。

**2学期以降も無料にできないか**

**【山橋】** 給食費負担金57.3万円・保育園給食費負担金83万円の減額をしている。  
 2学期以降も保・幼・小・中の給食費の無料、または2分の1の補助はできないか。

**2次補正の内容によつて考える**

**小田町長** 今回、1学期のみとしたが、国の2次補正の内容によつて、負担を減らす考えをもっている。

**高校休校在宅支援の内容は**

**【市原】** 高等学校休校在宅支援助成金の内容は。

**1人2万円を支給**

**織田教育長** 新型コロナウイルスの感染症対応により休校措置となった高校生扶養家庭を支援するものである。  
 高校生を対象に1人2万円を支給する。町内在住の高校1年生35人、2年生43人、3年生46人である。

**使い道は**

**【西川】** 公立学校等施設整備事業費1490万円の使い道は。

**小中トイレの改修**

**谷岡教育次長** 中学校トイレ改修工事の管理委託とトイレ改修工事、小学校トイレ改修設計業務の委託である。

**使い道は**

**【西川】** 過疎債の町民総合運動場整備事業160万円の使い道は。

**総合グラウンド天井ネット張替**

**谷岡教育次長** 町民総合運動場グラウンド天井ネット張替工事である。



2年度改修予定の中学校トイレ

条例の一部改正

# がけくずれ分担金を明確化 (受益者負担金)

別表

事業名	諸条件	賦課率							
		法定外公共物影響なし				法定外公共物影響あり			
		一般	高齢	非課税	生活保護	一般	高齢	非課税	生活保護
県がけくずれ住家防災対策事業	災害	20%	10%	10%	0%	8%	4%	4%	0%
	予防	25%	12.5%	12.5%	0%	10%	5%	5%	0%
町がけくずれ住家等防災対策事業	災害	30%	20%	20%	0%	18%	14%	14%	0%
	予防	35%	22.5%	22.5%	0%	20%	15%	15%	0%

**がけくずれ住家防災対策事業分担金**

がけくずれ住家防災対策事業分担金の賦課率を明確化するために別表を追加する。

《賛成・全員》

質疑

**改正内容は**

**【武智】** がけくずれ住家防災対策事業分担金の改正内容は。

**変わっていない**

**岡田建設課長** 今回の改正は今まで別表がなかったもので、明確化するため今回別表を付けたものである。中身は今までと変わっていない。

人事

○人権擁護委員候補者の推薦  
**箭野久美(再)** **越知甲**



任期は、5年9月30日まで  
 《同意・全員》

○農業委員会委員の任命

- 同意 須内 啓次 (再)
  - 柴尾 和 昌夫 (再)
  - 横島北 和 昌夫 (再)
  - 今成 正 昭 (再)
  - 横島南 大 原 利武 (再)
  - 浅尾 岡 林 富士男 (再)
  - 野老山 吉 田 由太郎 (再)
  - 越知甲 大 原 典子 (再)
  - 今成 橋 詰 節 (再)
  - 越知甲 藤 田 一夫 (新)
  - 越知甲 吉 田 忠 (新)
- 任期は、5年7月19日まで  
 《賛成・全員》



これで一安心(文徳)

こんなことが決まったぜよ

高橋丈一・・・14ページ



- ① 新型コロナウイルス対策
  - ・授業日数の不足を補う取り組みは
  - ・第2波、第3波への準備は
  - ・下請け業者等への影響は
- ② 道路行政
  - ・拡幅工事の予定は
  - ・共有地問題は

武智 龍・・・15ページ



- ① 県道18号
  - ・交通問題の早期解決を
  - ・案内標識の改善を
- ② 住宅の耐震工事
  - ・耐震工事の加速を
- ③ 町民バス
  - ・谷ノ内地区への運行開始の見通しは

箭野久美・・・16ページ



- ① 感染症対策
  - ・小・中学校で感染症が発生した場合は
  - ・トレーラーハウスを設けては
- ② 町独自の給付金
- ③ SDGs
  - ・役場内の認知度は
  - ・最重要課題と考えているものは

市原静子・・・17ページ



- ① 地方創生臨時交付金
  - ・町独自の支援策の内容は
- ② レスパイト事業
  - ・町の現状と対応は

山橋正男・・・18ページ



- ① キャンプ場の来客数
  - ・現在の状況は
- ② 1区住宅用地
  - ・集合住宅建設計画は

議会を傍聴しませんか

6月定例会の傍聴者は延べ4人でした。次の定例会は9月4日開会の予定です。  
大勢の傍聴をお待ちしています。



一般質問 5人登壇

ズバリ!!

町政を問う

一般質問席

6月定例会は5人が一般質問を行いました。発言内容は紙面の都合で要約していますので、ぜひ議場に足を運んでいただき、白熱した議論を傍聴してください。  
なお、全文を記載した会議録は、議会事務局と町のホームページ (<http://www.town.ochilg.jp>) でご覧ください。

補正予算

特別定額給付金に5億4800万円  
子育て世帯への臨時特別給付金に468万円



3密を避けて受付事務を行う

予算

臨時議会を、5月11日に開き、2年度一般会計補正予算1件、専決処分4件を、全会一致で可決・承認しました。

2年度一般会計補正予算は、新型コロナウイルス感染症の影響を特に受けている子育て世帯の生活を支援するため、児童手当を受給する世帯に対し、臨時特別給付金を支給する。  
経済対策として、給付対象者一人につき10万円を支援する特別定額給付金など5億5874万円を追加し、総額を51億2364万円とする。  
《賛成・全員》

条例制定



高校生の在宅支援に応援基金を活用

おち家の絆プロジェクト  
応援基金を創設

新型コロナウイルス感染症対策に取り組むための「おち家の絆プロジェクト」を応援したいとの思いから送られた寄附金等を有効に活用するため、町に匿名で寄附された寄

附金を原資に、「おち家の絆プロジェクト応援基金」を創設する。  
《賛成・全員》

専決処分

元年度一般会計補正  
791万円を追加  
総額48億9940万円  
地方交付税等歳入の最終額が確定したことに伴い、財源調整の結果、ふるさと応援基金元金に791万円を追加した。  
《承認・全員》

2年度一般会計補正  
子育て世帯助成金446万円を追加  
新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯への支援をするため、町内の中学生以下の子育て世帯に対して、児童・生徒一人あたり1万円を助成金として446万円を追加し、総額45億6490万円とした。  
《承認・全員》



高橋 文一 議員

## 新型コロナウイルス対策

### 授業日数の不足を補う取り組みは 夏休みを短縮 教育長



分散登校で授業再開

**問** 小中学校は、新型コロナウイルス感染症で、長期休校となったが、授業日数不足を補うための取り組みは、学校行事や学力は正への対応は。

**織田教育長** 夏休みを8月1日から23日に短縮したが、小中学校ともに100時間程度の余剰時間を確保していたため、休校の影響は少ないと考えている。

学校行事では交流事業などを中止にするが、できるものは検討していく。格差は正の対応として小学校は5・6年生を対象に一部の土曜日を補習に回し、横倉タイムやサマースクールでの補習、中学校は越知塾やサマースクールでの補習を実施する。9月以降は様子を見ながら検討する。

**問** 第2波、3波への準備は。

**小田町長** 教育委員会では非接触式温度計を14個購入予定である。今後は公共、観光施設にも設置する方向で進め、安心して生活ができる環境を考え準備していく。

**問** 国の支援の対象とならない事業者への協力金を考えているか。

**田村産業課長** 町独自の持続化給付金を計画し支援する。

**問** ごみ収集作業員やトイレ清掃員の安全は大丈夫か。

**岡田環境水道課長** 感染症の予防と安全に作業できるようマスクを配布している。

**問** イベント等への対応は。

**大原企画課長** 夏のイベントは中止とし、秋以降は協議して進めたい。

**問** 災害時には、避難所が密になると思うが運営対策は。

**上田危機管理課長** マスク、消毒液、問仕切りなどの整備をして、密をさけるため十分なスペースを確保する。また、指定場所以外の集会所等も検討する。

**問** 四国部品株等の下請け業者への影響は出ていないか。

**田村産業課長** 大きな影響が出ている。今後は情報提供し協力していく。

## 道路行政

**問** 拡幅工事の予定は

**問** 町道役場久万目線の拡幅工事の予定は。

3年度に着工

**岡田建設課長** 2年度に用地補償等を予算計上しており、国の動向によるが、3年度に着工を計画している。

**問** 共有地問題は

**問** 町道西ノ芝4号線の進捗状況と共有地問題は解決したか。

解消に向け協議を続ける

**岡田建設課長** 概略設計まで完了している。共有地問題も前に進んでいるが、解消に向けて協議を続ける。

## 町民バス

**問** 谷ノ内への運行開始の見通しは

**問** 谷ノ内の住民から要望のあった同地区への運行開始の見通しは。他に運行されていない地区はないか。

年度内開始を検討

**井上総務課長** 現段階では、車の追加なしでできるだけ早く対応できるように運行業者と協議中だ。めどが立ち次第地元協議に入り、可能であれば年度内に運行開始したい。南片岡地区と松坂方面は運行していないが、今後要望等があれば検討したい。

## 県道18号

### 交通問題の早期解決を

県に積極的に要望する 町長



一時しのぎでビニールシート

**小田町長** 生活道としての安全性を高めるため2車線化が理想だが、非常事態の対応も含め、この区間の交通問題の早期解消を知事や土木事務所に積極的に要望する。

**案内標識の改善を**

**問** 区間の両端には、「対向車接近」や「大型車接近」と出る電光掲示板と「この先行き違いますません」という案内標識があるが、県外ドライバーには意味が分からないと思われる。

案内標識を「対向車が通過するまでお待ちください」に変えては。

県へお願いする

**岡田建設課長** 県外や運転が不慣れた人にも意味が分かるように土木事務所に要望する。

**片岡が危険**

**問** 県道18号片岡地区の狭小区間は、本町議会も退避所の新設を県に要望しているが、最近、吹きつけモルタルが崩落し危険だ。

早期解決に向けた町の取り組みは。

## 住宅の耐震工事

### 耐震工事の加速を

関係機関と連携 建設課長



のぼり旗を立てて耐震改修（3区）

**住宅の耐震工事を加速させる必要があると思うが啓発活動は。**

**岡田建設課長** 平成28年度に補助金を見直した結果、元年度改修の個人負担は平均11万9千円となった。申請のあった2022件のうち2年3月末で53%が完了した。

今後も、町広報紙やホームページ、啓発用リーフレットの活用、戸別訪問などの他、関係機関と連携して啓発に取り組む。

## 住宅の耐震工事

**問** 避難指示等が出てからも、今後は感染症予防のため、自宅避難を選ぶ住民が増えると思う。





**問** 小・中学校において登校後発熱した場合は帰宅させると聞いているが、今回のような感染症が発生した場合の対策は。

**織田教育長** 文部科学省の学校における新型コロナウイルス感染症の衛生管理マニュアル「学校の新しい生活様式」で指導する。

### 感染症対策

小・中学校で感染症が発生した場合は「学校の新しい生活様式」で指導 教育長



ソーシャルディスタンスで授業

**トレーラーハウスを設けては**  
**問** 小・中につづつトレーラーハウス等設けて臨時保健室にして災害時には感染隔離臨時病室として活用できないか。  
**現時点では考えていない**  
**織田教育長** 学校施設内に常設され、一般との共同利用の検討も必要と思うが、現時点では考えていない。

**町独自の給付金**  
**問** 町持続化給付金20%以上の基準はどのように決めたのか。  
**田村産業課長** 全国的な状況と近隣の市町村を調べて決めた。

### SDGs

最重要課題と考えているものは人口減対策である 町長

**大原企画課長** ともにSDGsの目標も含まれている。  
**問** その中で最重要課題と考えているものは。  
**小田町長** 人口減対策である。コロナ禍では、安心・安全なまちづくりも非常に重要と考える。

**役場内の認知度は**  
**問** SDGsの認知度は一般市民では27%だが、役場内においては。  
**38・6%**  
**大原企画課長** 83人を調査した結果、名称を知っていたのは38・6%。うち内容を知っていたのは7・2%であった。

**総合振興計画やまち・ひと・しごと創生総**  
**問** SDGs 持続可能な開発目標の略称。2016年からの15年間で世界が達成すべきゴールを表したもので、貧困を根絶などの17の目標と169のターゲットが設定されている。

**議員副町長** 関係課には下りているが、動きが鈍いところもある。  
町民への啓発も大事と  
思っている。

### 地方創生臨時交付金

町独自の支援策の内容は 町長  
持続化給付金など



間仕切り等で対策した店舗

**小田町長** 子育て世帯への支援は、学校給食費1学期分免除、ひとり親家庭等支援特別助成金、児童・生徒1人当たり1万円、高等学校休校による在宅支援助成金、1人当たり2万円給付を考えている。

事業者等への支援は、持続化給付金で、国の支援対象とならない前年度より売り上げが20〜50%未満で下がっている人。感染症対策補助金は、店舗等における感染拡大防止、施設改修など上限20万円の補助金を考えている。  
観光事業者には、観光施設を利用する人に条件付きで2分の1の補助をする。

**問** 新型コロナから家計を助ける支援制度はたくさん出ているが、町民への啓発は。  
**井上総務課長** 全ての支援制度を紹介するのは難しい状況であるが、公的支援を中心に啓発している。広報誌5月号から感染症対策の特集ページを作り、ホームページにも関連情報を掲載。

この臨時交付金は、2次補正予算で対応する。

### レスパイト事業

町の現状と対応は 数人いるが他のサービスを利用 保健福祉課長

**議員保健福祉課長** 該当する主な医療的ケアは、人口呼吸器管理、気管内挿管、酸素吸入など全部で12種類ある。  
町内には数人いるが、全員比較的軽度であり、他のサービスを利用しながら介護しており、この事業の対象者はいない。  
今後対象となる事例が出たときには、家族の心身ケア、負担軽減を考え利用したいと思う。



**問** 地方創生臨時交付金は、地域経済、住民生活を支援するため自治体が地域の実情に応じて実施するコロナ対策に充てると思うが、町独自の支援策の内容は。

観光事業者には、観光施設を利用する人に条件付きで2分の1の補助をする。

**問** 県は、2年度から重度心身障がい児・者を在宅介護する家庭の負担を軽減するため、介護者が一時的に休息できる「レスパイト事業」を実施し、市町村に補助を行うが、町の現状と対応は。



山橋正男 議員

### キャンプ場の来客数

#### 現在の状況は

#### 県内・会員に限定し受け入れ 企画課長

住箱の宿泊延べ人数は 会員限定であるので、6月152人で29・9% 日は5組17人、かわの駅増。4月は19人で87・5%減。5月は0人で100%減である。おちは2組2人の宿泊状況である。

**問** かわの駅キャンプ場の新型コロナウイルス感染症予防対策は、緊急事態宣言が解除になった現在の状況は。



6月に開催された「2020春 雪峰祭」

**問** 今年3・4・5月のスノーピークおち仁淀川キャンプフィールドのキャンプサイトと住箱の宿泊数は前年比で何%か。

**大原企画課長** キャンプサイトは3月419人で11・1%増。4月は183人で72・6%の減。5月は44人で95・3%減である。

**大原企画課長** スノーピーク独自のガイドラインで対策している。備品の消毒、管理等、体調管理、検温や厳格な予防対策を従業員とお客様両方に行っている。解除後は、全30サイト受け付けをしている。住箱は6月6日から土曜日のみで受け入れている。県内・スノーピーク

### 1区住宅用地

#### 集合住宅建設計画は

PFI手法を研究 企画課長



整備手法を研究中の集合住宅用地

#### PFI手法

民間の資金と経営能力・技術力(ノウハウ)を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法。

**問** 1区移住促進住宅用地は、3区画は処分できた。残り1区画の現状と管理状況は。

**大原企画課長** 住宅メーカーを通して問い合わせはあるが契約には至っていない。広報に掲載し、分譲地入り口の県道沿いに、のほりを立てPRをしている。職員が、定期的に確認し草刈り等を行っている。

**問** 集合住宅建設計画の進捗状況は。

**大原企画課長** 町財政も厳しく、建設費用が多額なため進めることができない。PFI手法による住宅整備を研究している。

## 広域議会



検温による感染対策をする五葉荘職員

### 組合長報告

第2回定例会が、6月2日に開かれ、2年度一般会計補正予算など2件、工事請負契約締結1件を全会一致で可決しました。

#### ● 新型コロナウイルス対策

社会福祉施設、消防、一般廃棄物処理施設等は住民生活に不可欠な業務を行っており、安定的に業務を継続することが求められるため、厚生労働省が示した感染対策マニュアル等に基づき、感染防止に取り組んでいる。

#### ● 清掃センター基幹的施設工事

3月25日に引き渡しを受けて、通常運転を行っている。廃棄物処理法上の制約から処理能力の変更を伴う改良はしていないが、誘引・押し込み通風機のインバータ化により電気使用量が減少している。

#### ● 春日荘耐震補強・空調設備等改修工事

請負契約締結の議会の議決をいただいた後に、昭和50年開所時の部分の改修をする。

#### ● もみじ荘空調設備工事

6月末完了を予定しており、この工事により部分ごとに温度管理が可能となる。

### 補正予算

《賛成・全員》

会計名	補正額	総額
一般会計	520万円	8億4944万円
特別会計	0万円	552万円
ふるさと市町村圏		

### 工事請負契約締結

春日荘ほのほの居室棟耐震補強空調設備等改修工事

入札の方法  
指名競争入札  
指名競争金額  
8239万円  
契約相手  
高知市  
株式会社 嶋崎勝昭  
《賛成・全員》



改修予定の春日荘